

元・日展参与／元・東光会理事長

梅津五郎(白鷹町出身)の画業

ふるさと山形を描いた感動の22点

企画展覧会

梅津五郎と山形

2011年 3月3日(木)～5月31日(火)



《秋月山遠望》1986

あゆ一む

白鷹町文化交流センター AYU:M

白鷹町文化交流センター AYU:M
■駐車でお越しの場合／山形駅より国道34号線で約35分
■電車でお越しの場合／赤湯駅より山形鉄道アラワード井線(荒砥行き)
で「四季の郷駅」下車(赤湯駅から約50分)徒歩約45分
TEL 0992-0771 山形県西置賜郡白鷹町駄見役場地24街区1番



休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合、その翌日) ギャラリー開場時間／午前9時～午後7時

観覧料／一般200円 高校生以下無料 団体150円(15人以上)

主催／白鷹町文化交流センター 問合せ／0238-85-9071

梅津五郎 (1920-2003)

山形県白鷹町生まれの洋画家。画業を志して上京し、森田茂・熊岡美彦の両氏に師事した。東光展と日展を主な発表の場として活躍し、1956(昭和31)年の第12回日展では、自らが働く中華料理屋を描いた《調理場》が独特の生活感を評価され、特選を受賞した。鮮やかな色彩と分厚い筆致に特徴がある画家。東光会理事長や、日展参与などの重責も担った。晩年、白鷹町に代表作など120余点の作品を寄贈し、それらは当館に収蔵されている。